

2006 年度～2009 年度 成果報告項目別一覧

【項目】

1. シンポジウム
2. セミナー他
3. ワークショップ
4. 価値意識調査
5. インタビュー
6. 全学総合講義『エコ・フィロソフィ入門』
7. 研究年報
8. ニュースレター
9. サステナ
10. その他の刊行物

*TIEPh 研究員氏名の下には、下線を付した。

1 シンポジウム		
1	TIEPh 主催・IR3S 後援 第1回シンポジウム 2006年10月21日	テーマ：「『エコ・フィロソフィ』の構築をめざして」 基調講演者：武内和彦、カール・ベッカー パネリスト： <u>竹村牧男</u> 、 <u>山田利明</u> 、 <u>宮本久義</u> 、 <u>河本英夫</u> 、 <u>永井 晋</u> 場所：東洋大学スカイホール
2	TIEPh 後援 日中哲学国際シンポジウム 2006年11月26日	テーマ：「環境・生命・共生」 発表者： <u>河本英夫</u> 場所：浙江樹林大学
3	IR3S 公開シンポジウム 2007年2月3日	テーマ：「資源と環境が支える地球と人類の未来」 パネリスト： <u>松尾友矩</u> 場所：東京大学
4	TIGS 主催 国際シンポジウム 2007年2月26～28日	テーマ：「International Symposium on Dialogue between Social and Natural Sciences」 発表者： <u>竹村牧男</u> 、 <u>渡辺章悟</u> 、 <u>宮本久義</u> 、 <u>稲垣 諭</u> 場所：ハワイ
5	日本心理学会・TIEPh 共催 国際シンポジウム 2007年9月20日	テーマ：「地球環境とアジアの価値観—われわれは未来世代を守れるのか—」 コーディネーター：田中 淳 パネリスト：村田佳壽子、 <u>大島 尚</u> 、鄭 全全、ビクトール・サベージ、鄭 躍軍 場所：東洋大学井上円了ホール
6	TIEPh 主催・読売新聞社後援 国際シンポジウム 2007年10月13日	テーマ：「今、地球を維持する哲学とは？」 基調講演者：吉川弘之 パネリスト：伊東俊太郎、間瀬啓允、デレアス・フロリン、ウィリアム・ボディフォード、 <u>竹村牧男</u> 場所：東洋大学井上円了ホール
7	TIEPh 主催 国際シンポジウム 2008年11月22日	テーマ：「みんなで地球を救いたい！」 コーディネーター： <u>大島 尚</u> パネリスト：メアリー・ミツォス、デボラ・セリグソン、前田洋枝、 <u>今井芳昭</u> コメンテーター： <u>今井芳昭</u> 場所：東洋大学スカイホール
8	TIEPh 後援 日中哲学国際シンポジウム 2009年4月25日～26日	テーマ：「環境・生命・共生」、「若手研究者の哲学の現代的課題」 発表者： <u>河本英夫</u> 、 <u>稲垣 諭</u> 場所：浙江樹林大学

9	日本宗教学会 2009年9月12日～13日	テーマ：「思想としての宗教」 発表者：宮本久義、橋本泰元、渡辺章悟、竹村牧男 場所：京都大学
10	TIEPh 主催 国際シンポジウム 2009年9月19日	テーマ：「環境哲学の可能性 ～環境問題の解決に向けて～」 コーディネーター：山口一郎 パネリスト：丸山徳次、桑子敏雄、M・グートマン、G・シュテンガー、河本英夫 場所：東洋大学白山キャンパス6号館
11	TIEPh 主催・読売新聞東京 本社、東洋大学共生思想研 究センター後援 国際シンポジウム 2009年11月28日	テーマ：「日本発のエコ・フィロソフィを求めて」 コーディネーター：竹村牧男 基調講演者：ドナルド・キーン パネリスト：ウイリアム・ラフルーア、フレデリック・ ジラル、吉田公平、竹内整一 場所：東洋大学井上円了ホール

2 セミナー他

1	東洋大学共生思想研究セン ター・TIEPh 共催 第1回公開講演会 2006年7月22日	テーマ：「理性と宗教（仏教を中心として）：文明の危 機に際して」 講師：ラーラン・プラサード・スィンフ 場所：白山キャンパス6号館
2	TIEPh 主催 第2回公開講演会 2006年11月15日	テーマ：「ドイツにおける環境にやさしい建築」 講師：ウルフ・マイヤー、ジビレ・ファネルザ 場所：東洋大学白山キャンパス6号館
3	茨城大学 ICAS・東洋大学 TIEPh 共催 第1回国際セミナー 2006年11月17日	テーマ：「持続可能な発展と自然、人間—西洋と東洋の 対話から新しいエコ・フィロソフィを求めて—」 発表者：竹村牧男、中川光弘、ジェフリー・クラーク 場所：茨城大学
4	第6回 TIGS・AGS セミナー 2006年11月30日	テーマ：「仏教の自然観」 講師：竹村牧男 場所：東京大学
5	日本心理学会・TIEPh 共催 講演会 2007年9月19日	テーマ：「環境保護行動を促す説得的コミュニケーション」—Using persuasive communications to protect the environment 講師：ロバート・チャルディーニ 場所：東洋大学井上円了ホール
6	認知運動療法研究会・TIEPh 共催 アドバンスコース	テーマ：「認知運動療法の地平：システム・片麻痺・神 経科学・疼痛」 講演者：宮本省三、沖田一彦、フランカ・パンテ、ジョ

	2007年11月23～25日	ルジヨ・ガベラ、 <u>河本英夫</u> 、 <u>山口一郎</u> 、 <u>稲垣 諭</u> 場所：東洋大学井上円了ホール
7	茨城大学 ICAS・東洋大学 TIEPh 共催 第2回国際セミナー 2007年12月1日	テーマ：「持続可能な発展と自然、人間—西洋と東洋の 対話から新しいエコ・フィロソフィを求めて—」 発表者： <u>竹村牧男</u> 、ケネス田中、ジェフリー・クラーク、 小坂国継、中川光弘、岡野守也、グレッグ・シューラー、 菅沼憲治 場所：東洋大学白山キャンパス6号館
8	TIEPh 主催 2008年度セミナー 2008年5月8日	テーマ：「資源利用の人類学」 講師：長谷川眞理子 場所：東洋大学白山キャンパス5号館
9	日本病跡学会・TIEPh 共催 第55回日本病跡学会総会 2008年5月23～24日	テーマ：「創造性と経験の変容」 総会会長： <u>河本英夫</u> 発表者：加藤 敏、荒川修作、花村誠一、内海 健、十川 幸司、佐藤康邦、 <u>村上勝三</u> 場所：東洋大学
10	日本認知運動療法研究会・ TIEPh 共催 第9回日本認知運動療法研 究会学術集会 2008年7月5日～6日	テーマ：「心の可塑性—ロマンティックサイエンスの世界—」 講演者：池田由美、高畑圭輔、宮本省三、 <u>河本英夫</u> 、中 里瑠美子、人見眞理、鶴埜益巳 場所：東洋大学井上円了ホール
11	茨城大学 ICAS・東洋大学 TIEPh 共催 第3回国際セミナー 2008年11月8日	テーマ：「持続可能な発展と自然・人間—西洋と東洋の 対話から新しいエコ・フィロソフィを求めて—」 発表者： <u>竹村牧男</u> 、小坂国継、ケネス田中、ジェフリー・ クラーク、中川光弘、岡野守也 場所：茨城県県南生涯学習センター多目的ホール
12	IR3S、TIEPh 共催 2008年度哲学セミナー 2008年12月6日	テーマ：「サステナビリティ学における哲学の役割」 基調講演者：木村 競、蔵田伸雄 コメンテーター： <u>竹村牧男</u> 、 <u>山田利明</u> 総合司会： <u>田中綾乃</u> 場所：東洋大学白山キャンパス6号館
13	人間再生研究会・TIEPh 共 催 第1回セミナー 2008年12月13日	テーマ：「より充実したリハビリテーションに向けて」 発表者： <u>河本英夫</u> 、森 俊明、人見眞理、 <u>稲垣 諭</u> 、中里 瑠美子 場所：東洋大学白山キャンパス第2会議室
14	Julie Matthews (ジュリー・ マシューズ) 氏講演会 2009年5月8日	テーマ：「サステナビリティの教育について —オー ストラリアの現状から—」 司会： <u>大島 尚</u> 場所：東洋大学スカイホール

15	第10回認知運動療法研究会 学術集会 2009年7月4日～5日	テーマ：新しい時代のコペルニクスたち ―認知運動療法から認知神経リハビリテーションへ― 発表者： <u>河本英夫</u> 場所：神戸文化ホール
16	茨城大学 ICAS・東洋大学 TIEPh 共催 第4回国際セミナー 2009年10月10日	テーマ：「持続可能な発展と自然、人間―西洋と東洋の対話から新しいエコ・フィロソフィを求めて―」 基調講演者：小坂国継 研究発表： <u>稲垣 諭</u> 、 <u>上柿崇英</u> 、 <u>竹村牧男</u> 、 <u>ジェフリー・クラーク</u> 、 <u>中川光弘</u> 、 <u>岡野守也</u> 総合司会： <u>竹村牧男</u> 場所：東洋大学スカイホール
17	TIEPh 活動報告会 2010年3月1日	テーマ：4年間の活動報告 発表者： <u>竹村牧男</u> 、 <u>大島 尚</u> 、 <u>稲垣 諭</u> 場所：東洋大学白山キャンパス6号館

3 ワークショップ

1	2007年度 TIEPh 全体WS (サ ステナ座談会含む) 2007年6月20日	出席者： <u>竹村牧男</u> 、 <u>山田利明</u> 、 <u>大島 尚</u> 、 <u>河本英夫</u> 、 <u>今井芳昭</u> 、 <u>稲垣 諭</u> 場所：東洋大学白山キャンパス文学部会議室
2	IR3S 国内 WS にて TIEPh 活 動成果報告 2007年7月17～18日	参加者： <u>竹村牧男</u> 、 <u>大島 尚</u> 、 <u>山田利明</u> 、 <u>稲垣 諭</u> 発表者： <u>大島 尚</u> 場所：東京大学
3	第6回 KSI 学内 WS 2008年2月22日	テーマ：「環境変化への現実的対応」 参加者： <u>大島 尚</u> 場所：京都大学
4	2007年度 TIEPh 全体 WS 2008年3月17日	発表者： <u>小路口 聡</u> 、 <u>大島 尚</u> 、 <u>河本英夫</u> 場所：東洋大学白山キャンパス3号館
5	2008年度 TIEPh 全体 WS 2008年9月24日	テーマ：“Umwelt”を巡って 発表者： <u>竹村牧男</u> 、 <u>関谷直也</u> 、 <u>稲垣 諭</u> 場所：東洋大学白山キャンパス第1会議室
6	東洋大学哲学科・TIEPh 共 催 身体論 WS 2008年10月15日	テーマ：「動作療法について」 講師：緒方登士雄 場所：東洋大学白山キャンパス5号館
7	東洋大学哲学科・TIEPh 共 催 身体論 WS 2008年11月15日	テーマ：「カオス・デザイン」 講師：木本圭子 場所：東洋大学白山キャンパス5号館

8	2009年度 TIEPh 学内 WS 2009年5月16日	発表者： <u>河本英夫</u> 「システムデザインと環境」、 <u>稲垣 諭</u> 「環境デザインについて」 質問者：武内和彦（IR3S 副機構長、国連大学副学長） 場所：東洋大学白山キャンパス第三会議室
9	2009年度 TIEPh WS (1) 2009年5月21日	テーマ：「渡良瀬川：環境問題の日本遺産（1）」 講師：小出五郎 場所：東洋大学白山キャンパス5号館
10	2009年度 TIEPh WS (2) 2009年5月28日	テーマ：「渡良瀬川：環境問題の日本遺産（2）」 講師：小出五郎 場所：東洋大学白山キャンパス5号館
11	2009年度 TIEPh WS (3) 2009年6月4日	テーマ：「食における生命の全一性」 講師：中川光弘 場所：白山キャンパス5号館
12	2009年度 TIEPh WS (4) 2010年3月24日	テーマ：「環境と生活の哲学」 講師：G・シュテンガー 発表者： <u>山口一郎</u> 場所：東洋大学白山キャンパス第2会議室

4 アジア地域価値意識調査

1	サステナビリティに関する価値意識調査 2007年10月～2008年2月	実施者： <u>大島 尚</u> 場所：シンガポール
2	サステナビリティに関する価値意識調査 2008年4月～7月	実施者： <u>大島 尚</u> 場所：福岡県
3	サステナビリティに関する価値意識調査 2008年6月～7月	実施者： <u>大島 尚</u> 場所：中国
4	サステナビリティに関する価値意識調査 2008年12月～1月	実施者： <u>大島 尚</u> 場所：ベトナム

5 インタビュー

1	「環境哲学」についての調査 2008年8月5日～10日、17日～21日	実施者： <u>山口一郎</u> 場所：ドイツ
2	「環境哲学」についての調査 2008年8月11日～16日	実施者： <u>山口一郎</u> 場所：ドイツ

3	「環境哲学」についての調査 2009年3月4日～18日	実施者：永井 晋 場所：フランス
---	--------------------------------	---------------------

6 全学総合講義「エコ・フィロソフィ入門」		
1	2007年度 全学総合 IA 『エコ・フィロソフィ入門～ 共生と環境問題～』 2007年4～7月	全13回
2	2008年度 全学総合 IA 『エコ・フィロソフィ入門～ 共生と環境問題～』 2008年4月～7月	全13回
3	2009年度 全学総合 IA 『エコ・フィロソフィ入門』 2009年4月～7月	全13回

7 研究年報		
1	『「エコ・フィロソフィ」 研究 第1号』 2007年3月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・東洋大学「エコ・フィロソフィ」学際研究イニシアティブ (TIEPh) 設立の経緯 ・TIEPh 活動組織 ・TIEPh 2006年度活動報告 ・『サステイナビリティ学』と『共生学』に関する一考察 <u>松尾友矩</u> I ーTIEPh 第1ユニット 自然観探求ユニットー <ul style="list-style-type: none"> ・エコロジーとエコ・フィロソフィ <u>竹村牧男</u> ・中国思想の環境論ー自然・山水・風水ー <u>山田利明</u> ・インド仏教から見た自然観の可能性 <u>渡辺章悟</u> ・「持続可能な社会」論についての一考察 <u>吉田公平</u> II ーTIEPh 第2ユニット 価値意識調査ユニットー <ul style="list-style-type: none"> ・シンガポール価値意識調査報告 <u>大島 尚</u> ・「価値観」をめぐる諸研究 ー国家・民族・時代による価値観の違いー <u>花井友美</u> ・地球環境問題の現状とシンガポールの環境政策

		<p>吉田美緒、本島正人、<u>大島 尚</u></p> <p>III —TIEPh 第3ユニット 環境デザインユニット—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システム・デザイン—探究プログラムの設定 <p><u>河本英夫</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能性の実現とその課題—オルタナティブ・デザインとしての哲学 <p><u>稲垣 諭</u></p> <p>IV Summary</p>
2	<p>『「エコ・フィロソフィ」研究 第1号 別冊』</p> <p>2007年3月1日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム <p>「エコ・フィロソフィの構築をめざして」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開講演会 <p>「理性と宗教（仏教を中心として）：文明の危機に際して」</p> <p>「ドイツにおける環境にやさしい建築」</p>
3	<p>『「エコ・フィロソフィ」研究 第2号』</p> <p>2008年3月1日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『「エコ・フィロソフィ」研究』第2号の刊行に際して ・TIEPh 活動組織 ・2007年度活動報告 <p>I —TIEPh 第1ユニット 自然観探究ユニット—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Buddist Ecological Thought and Action in North America <p>ウイリアム・ボディフォード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・己事究明としてのエコ・フィロソフィ <p><u>竹村牧男</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・“MOTTAINAI”から“SINOBINAI”へ <p><u>小路口 聡</u></p> <p>II —TIEPh 第2ユニット 価値意識調査ユニット—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境意識と生活観・自然観 —アジア 3 国での調査結果から— <p><u>大島 尚</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境配慮行動を促すための社会心理学的アプローチ <p><u>今井芳昭</u></p> <p>III —TIEPh 第3ユニット 環境デザインユニット—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境デザインとしての風水説 <p><u>山田利明</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能性と哲学の課題 <p><u>村上勝三</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホモ・エクササイズ—障害者とともに生き抜くことへの賛歌（障害者との持続可能な共生へ向けて）— <p><u>河本英夫</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境概念の前史—環境内存在の現象学的アプローチへ向けて(1)—

		<p>稲垣 諭</p> <p>IV Summary</p>
4	<p>『「エコ・フィロソフィ」研究 第2号 別冊』</p> <p>2008年3月1日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム 「地球環境とアジアの価値観—われわれは未来世代を守れるのか—」 「今、地球を維持する哲学とは？ —エコ・フィロソフィを求めて—」 ・招待講演会 「環境配慮行動を促す説得的コミュニケーション Using persuasive communications to protect the environment」 ・国際セミナー 「持続可能な発展と自然・人間—西洋と東洋の対話から新しいエコ・フィロソフィを求めて—」
5	<p>『「エコ・フィロソフィ」研究 第3号』</p> <p>2009年3月1日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『「エコ・フィロソフィ」研究』第3号の刊行に寄せて ・TIEPh 活動組織 ・2008年度活動報告 I —TIEPh 第1ユニット 自然観探究ユニット— ・仏教の環境観について <u>竹村牧男</u> ・自然に対する義務と人間中心主義 —カント哲学の人間観を手がかりに— <u>田中 綾乃</u> II —TIEPh 第2ユニット 価値意識調査ユニット— ・ベトナムの環境問題とコミュニティ意識 <u>大島 尚</u> ・環境配慮行動を促すメッセージの制御焦点と受け手の感情状態との対応性が説得効果に及ぼす影響 <u>北村英哉</u> III —TIEPh 第3ユニット 環境デザインユニット— ・『葬書』の思想と環境論 <u>山田利明</u> ・認知運動療法という技法—システム存在論 <u>河本英夫</u> ・メメント・イマジカ 身体の記憶へ <u>河本英夫</u> ・環境哲学の可能性と現実（I） <u>山口一郎</u> ・環境デザインのプログラム設定—環境内存在の現象学的アプローチへ向けて(2)—

		<p><u>稲垣 諭</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・より充実したリハビリテーションに向けて— 第一回「人間再生研究会」総論— <p><u>稲垣諭</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳性麻痺のリハビリテーション—身体の復権のために— 人見眞理 ・右半球損傷症例の臨床展開を通して—右中大脳動脈領域の脳梗塞症例における病態解釈の一検討— 森 俊明 <p>IV Summary</p>
6	<p>『「エコ・フィロソフィ」研究 第3号 別冊』 2009年3月1日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国際シンポジウム 「みんなで地球を救いたい! ～環境 NGO のサステイナブル・マインド～」 ・ドイツ哲学者インタビュー
7	<p>『「エコ・フィロソフィ」研究 第4号』 2010年3月1日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『「エコ・フィロソフィ」研究』第4号の刊行に寄せて ・TIEPh 活動組織 ・2009年度活動報告 <p>I TIEPh 第1ユニット 自然観探究ユニット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サステイナビリティ学と人文科学 <u>竹村牧男</u> ・中世ヒンドゥー教にみる『地上の天界』説と環境倫理 <u>橋本泰元</u> ・インドの自然観と環境問題 <u>宮本久義</u> ・アボカドの種・仏の種子——仏教思想は環境倫理に何が できるか <u>西村玲</u> <p>II TIEPh 第2ユニット 価値意識調査ユニット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的規範情報と環境配慮行動 <u>安藤清志</u> ・「うわさ」の環境対策—「割り箸袋」「プルタブ」「ペット ボトルキャップ」回収にみる環境対策の心理とサンタクロ ースシンドローム— <u>関谷直也</u> <p>III —TIEPh 第3ユニット 環境デザインユニット—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知運動療法という技法(続) <u>河本英夫</u> ・ディア・インディヴィジュアル——魂の目覚めに <u>河本英夫</u> ・「生活世界」の視点からする環境現象学構想 <u>山口一郎</u> ・現代フランスにおける環境哲学の動向—4人の哲学者へ のインタビューから— <u>永井普</u> ・ドイツ自然哲学とそのデザインの課題 <u>稲垣諭</u> <p>IV Summary</p>

8	<p>『「エコ・フィロソフィ」 研究 第4号 別冊』 2010年3月1日</p>	<p>・講演会 「サステナビリティの教育について—オーストラリアの現状から—」</p> <p>・国際シンポジウム 「環境哲学の可能性～環境問題の解決に向けて～」 「日本発のエコ・フィロソフィを求めて」</p> <p>・国際セミナー 「持続可能な発展と自然・人間—西洋と東洋の対話から新しいエコ・フィロソフィを求めて—」</p>
---	--	---

8 ニュースレター		
1	<p>ニュースレターNo.1 2006年6月</p>	<p>巻頭：「発足を祝して」 菅野卓雄</p> <p>・「TIEPh, IR3S, AGS, への思い—「サステナビリティ」と「共生」の関係」 <u>松尾友矩</u></p> <p>・「東洋大学「エコ・フィロソフィ」学際研究イニシアティブの概要について」 <u>竹村牧男</u></p> <p>・「自然観探求ユニットの研究目標」 <u>山田利明</u></p> <p>・「価値意識調査ユニットの研究目標—アジアの人々の環境への意識—」 <u>大島 尚</u></p> <p>・「システム・デザインの課題」 <u>河本英夫</u></p>
2	<p>ニュースレターNo.2 2006年9月</p>	<p>巻頭：「エコ・フィロソフィへの期待」 小宮山 宏</p> <p>・「サステナビリティへの一視点」 北脇秀敏</p> <p>・「サステナビリティとエコ・フィロソフィ」 <u>竹村牧男</u></p> <p>・「自然観探求ユニットの活動状況」 <u>山田利明</u></p> <p>・「価値意識調査ユニットの活動状況」 <u>大島 尚</u></p> <p>・「環境デザインの課題」 <u>河本英夫</u></p> <p>・「Transdisciplinary の実現と「エコ・フィロソフィ」」</p>

		<u>稲垣 諭</u>
3	ニュースレターNo.3 2006年12月	<p>巻頭：「東洋大学「エコ・フィロソフィ」学際研究イニシアティブ（TIEPh）主催、公開シンポジウム「エコ・フィロソフィ」の構築をめざして—を催して」</p> <p><u>松尾友矩</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「サステイナビリティ学の創生と TIEPh への期待」 <p>竹内和彦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地球環境問題とエコ・フィロソフィの課題」 <p>カール・ベッカー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本思想とエコ・フィロソフィ」 <p><u>竹村牧男</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中国思想とエコ・フィロソフィー—気思想と自然—」 <p><u>山田利明</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「インド思想とエコ・フィロソフィー—水をめぐるインドの自然観—」 <p><u>宮本久義</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「現代思想とエコ・フィロソフィー—リサーチ・プログラムのセットアップ—」 <p><u>河本英夫</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「総合討論を終えて」 <p><u>稲垣 諭</u></p>
4	ニュースレターNo.4 2007年3月	<p>巻頭：「TIEPh への期待」</p> <p>佐和隆光</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「サステイナビリティと説得」 <p><u>今井芳昭</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「シンガポール価値意識調査の実施報告」 <p><u>大島 尚</u></p>
5	ニュースレターNo.5 2008年3月	<p>巻頭：「諸学の基礎としての哲学への期待」</p> <p>塚本正進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第1ユニット 2007年度活動報告」 ・「第2ユニット 2007年度活動報告」 ・「第3ユニット 2007年度活動報告」 ・「CO2削減の緊急性とわれわれの対応」 <p><u>今井芳昭</u></p>

6	ニュースレターNo.6 2008年7月	<p>巻頭：「欲望のコントロール」</p> <p>住 明正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「"MOTTAINAI"から"SHINOBINAI"へ」 <p>小路口 聡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「環境配慮行動を促すための社会心理学的アプローチ」 <p><u>今井芳昭</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「環境概念の前史」 <p><u>稲垣 諭</u></p>
7	ニュースレターNo.7 2009年1月	<p>巻頭：「TIEPh 最終年度の活動に向けて」</p> <p><u>竹村牧男</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「哲学セミナー報告」 <p><u>田中綾乃</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「国際シンポジウム報告」 <p><u>大島 尚</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ドイツでの哲学者インタビュー報告」 <p><u>山口一郎</u></p>
8	ニュースレターNo.8 2009年7月	<p>巻頭：「温暖化対策をめぐる多重論理」</p> <p>三村信男</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「宗教とエコ・フィロソフィ」予告」 <p><u>渡辺章吾</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ジュリー・マシューズ氏講演会報告」 <p><u>大島 尚</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「環境哲学に関するフランスでのインタビュー報告」 <p><u>永井 晋</u></p>
9	ニュースレターNo.9 2009年1月	<p>巻頭：「「エコ・フィロソフィ」を求めた4年間を終えるにあたって」</p> <p><u>竹村牧男</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ICAS/TIEPh 共催国際セミナー」 <p><u>西村 玲</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「浙江大学訪問記（2009年9月）」 <p><u>大島 尚</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「国際シンポジウム報告「環境哲学の可能性」」 <p><u>山口一郎</u></p>

9 『サステナ』

1	『サステナ』0号 2006年7月31日	<p>連載エッセイ：「もったいない」という言葉に思う</p> <p><u>竹村牧男</u></p>
---	------------------------	---

2	『サステナ』1号 2006年10月20日	連載講座：サステイナビリティと東洋の知ー1 「エコロジーと道」 <u>山田利明</u> 連載エッセイ：「闇のなかのかがり火」 <u>竹村牧男</u>
3	『サステナ』2号 2007年1月20日	連載講座：サステイナビリティと東洋の知ー2 「エコロジーと山水」 <u>山田利明</u> 連載エッセイ：「味わいの深まるもの」 <u>竹村牧男</u>
4	『サステナ』3号 2007年4月10日	連載講座：「エコロジーと五行思想」 <u>山田利明</u> 連載エッセイ：「ともに実現すべきもの」 <u>竹村牧男</u>
5	『サステナ』4号 2007年7月20日	連載エッセイ：「過去を想い未来を想う」 <u>竹村牧男</u>
6	『サステナ』5号 2007年10月20日	特集：「エコ・フィロソフィを提唱するー東洋大学の発信」を東洋大学主導で掲載 巻頭エッセイ：『『サステナ』の持続性のために」 <u>松尾友矩</u> 座談会：「エコ・フィロソフィが目指すもの」 <u>竹村牧男、山田利明、大島 尚、河本英夫、今井芳昭</u> 報告：「価値意識を調査する」 <u>大島 尚</u> 紹介：「東洋大学「エコ・フィロソフィ」学際研究イニシアティブ」 <u>今井芳昭、竹村牧男、大島 尚</u> 連載講座：「風水説の思想」 <u>山田利明</u> 連載エッセイ：「和の伝統とは何か」 <u>竹村牧男</u> 研究室探訪：「東洋大学文学部インド哲学科宮本研究室の巻」 <u>宮本久義</u> 若手研究室の部屋：「東洋大学「エコ・フィロソフィ」学際研究イニシアティブ（TIEPh）の巻」 <u>稲垣 諭</u>
7	『サステナ』6号 2008年1月10日	連載エッセイ：『『筑波の道』のこころ」 <u>竹村牧男</u>

8	『サステナ』7号 2008年4月20日	連載エッセイ：「文化の伝承をめぐって」 <u>竹村牧男</u>
9	『サステナ』8号 2008年7月20日	連載エッセイ：「食べることと生きること」 <u>竹村牧男</u>
10	『サステナ』9号 2008年10月20日	連載エッセイ：「閑へのあこがれ」 <u>竹村牧男</u>
11	『サステナ』10号 2009年1月20日	連載エッセイ：「月に心を澄ませる」 <u>竹村牧男</u>
12	『サステナ』11号 2009年4月20日	エッセイ：「なぜサステイナビリティでなければなら ないか」 <u>山田利明</u> 連載エッセイ：「かそけき風を聴く」 <u>竹村牧男</u> サステナの眼：「木村競・蔵田伸雄・竹村牧男・山田利明哲 学セミナー ―サステイナビリティ学における哲学の役 割」
13	『サステナ』12号 2009年7月20日	連載エッセイ：「阿修羅に想う」 <u>竹村牧男</u>
14	『サステナ』13号 2009年10月20日	連載エッセイ：「地球が減びる時に」 <u>竹村牧男</u>

10 その他刊行物		
1	竹村牧男「サステイナビリ ティと共生思想」 2007年11月6日	『サステイナビリティ学への挑戦』（小宮山 宏編、 岩波書店）所収
2	ドイツ・フランス哲学者イン タビュー集 2009年12月	第一編 ドイツ哲学者インタビュー インタビューア：山口一郎、 <u>稲垣 諭</u> 翻訳者： <u>稲垣 諭</u> 、中山純一、 <u>畑 一成</u> 第二編 フランス哲学者インタビュー インタビューア： <u>永井 晋</u> 翻訳者：渡辺博之、前原有美子、平光哲朗、 <u>永井 晋</u>
3	松尾友矩、竹村牧男、 <u>稲垣諭</u> 編『エコ・フィロソフィ入門 ―サステイナブルナ知と行 為の創出―』 2010年1月26日	・「エコ・フィロソフィ」の探求 <u>竹村牧男</u> ・「ガンジス川をめぐるインドの環境問題」 <u>宮本久義</u> ・“モッタイナイ”から“シノビナイ”へ <u>小路口 聡</u> ・ヨーロッパの自然観と基本姿勢 <u>田中綾乃</u>

		<ul style="list-style-type: none"> ・システムデザインの原理—環境問題に関連づけて— <u>河本英夫</u> ・環境哲学のオルタナティブ—人間の可能性を拓く環境デザイン— <u>稲垣 諭</u> ・環境デザインとしての風水説 <u>山田利明</u> ・環境配慮行動と説得の技法 <u>今井芳昭</u> ・メディアは人々の心理を前提に「環境問題」を構築する <u>関谷直也</u>
4	データ分析集 2010年2月	はしがき <u>大島 尚</u> 調査結果の集計 調査票・回答カード（英語版、中国語（マンダリン）版、マレー語版、タミル語版、ベトナム語版、日本語版）
5	東洋大学「エコ・フィロソフィ」学際研究イニシアティブ 2006年度～2009年度 活動報告 2010年3月	I 2006年度～2009年度 総括 「サステイナビリティ学への哲学、社会学の役割」 II 2006年度～2009年度 活動報告項目別一覧 III 各ユニット研究報告 第1ユニット 自然観探求ユニット総括 第2ユニット 価値意識調査ユニット総括 第3ユニット 環境デザインユニット総括 IV 外部研究協力 V 国際シンポジウム・講演会・セミナー記録